



平成29年度 SNS 講習会開催

2017/5/8

5月8日(月)の7限目に、1学年全員を対象にした「SNS(ソーシャルネットワーク)講習会」を本校小体育館で実施しました。

この講習会は、SNS環境の「恐怖」と「痛み」を知り、SNS環境との正しい関わり方やルールを学び、モラルを身につけてもらうことを目的に開催したものです。本校生徒指導主事の山口教諭が講師となり生徒の興味・関心を引きつけた講習会となりました。

最初に、「インターネットを正しく安全に使うために」という題で、パワーポイントを使いながら、青少年被害防止対策事業(ネットパトロール)で、現在問題となっている点について生徒に語りかけながらその違法性と危険性について考えました。

次に、「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」という題で、動画(ドラマ)を見ながら、トラブルに陥った登場人物の問題点を考えました。また、もし登場人物一人一人にアドバイスを送るとしたらという視点で、視聴した生徒一人一人が自分の考えを配付されたプリントにまとめました。

山口教諭は、「書き込みをする前に一呼吸おいて、2段階で考えましょう。①この書き込みをしたらどんなことが起こるのか。②万が一、問題が起こったときに自分は責任をとれるのか、大切な人に迷惑をかけないか。」と繰り返し生徒に話しました。

インターネットの使い方やスマホの使い方について、今一度考えるきっかけにして欲しいと思います。



小体育館で開催された SNS 講習会時の様子

看護・医療技術系ガイダンス④

2017/5/10



5月10日(水)の放課後に、3年生対象の看護・医療技術ガイダンス第4回目を本校生物講義室で開催しました。

本校では看護・医療技術系進学希望者を対象に全6回(2年時:3回、3年時:3回)の進路ガイダンスを実施しています。今回は、3年生になってから初めてのガイダンスとなります。

講師に、東京医療保健大学入試広報部部長代理の鈴木和文氏をお招きして、休憩をはさみ2時間にも渡るご講演をいただきました。

鈴木先生の心のこもったご指導に生徒は引きまれて、あっという間の2時間でした。今回のテーマは、「医療保健系入試学科対策」として、3年生が夏までにしなければならないこと、教科ごとの入試出題傾向と対策等について、わかりやすく丁寧に指導をいただきました。

以下に、講演の要点の一部をまとめてみました。

- 1 医療保健系入試問題は、教科書・授業から7割が出題される。すべての基本は、学校の勉強である。
- 2 医療保健系の入試問題は、大学入試センター試験の問題を使っている。センター試験の66%は、教科書や授業からの出題である。
- 3 夏までに、自分の弱点を探り、補強をする。
- 4 勉強には、自分にあったやり方と順番がある。
- 5 気持ちの切り替えと集中力が大切である。
- 6 勉強が嫌いでも、自分の未来を拓くためにはやるしかない。

<入試を突破するためのコツ>

- 1 過去問を解くのは何のため?
 - ① 合格者の平均に追いつく目安のため
 - ② 自分の弱点を知り、気づき、補強するため
- 2 模試を受ける
 - ① 自分の位置を確認できる。
 - ② 何で出来なかったのか理由を理解できる。
 - ③ 3年の10月、11月のデータが一番信ぴょう性がある。今できなくてもあせる必要はない。普段の学校の勉強を遅くとも今やる。